

## 自己評価報告書

平成23年 4月18日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2012

課題番号：20406017

研究課題名（和文）抗 HIV 多剤併用療法と HIV 感染者の性行動—タイ東北部における追跡調査

研究課題名（英文）Follow-up study of use of HAART and safer sexual behavior among people living with HIV in northeast Thailand

研究代表者

小林 廉毅（KOBAYASHI YASUKI）

東京大学・大学院医学系研究科・教授

研究者番号：70178341

研究分野：公衆衛生学

科研費の分科・細目：公衆衛生学・健康科学（7102）

キーワード：HIV 感染者、AIDS 患者、抗 HIV 多剤併用療法、性行動、感染予防、  
カウンセリング

## 1. 研究計画の概要

本研究では、多数の HIV 感染者を抱えるタイ国を調査地として、抗 HIV 多剤併用療法 (HAART) を受ける HIV 感染者を対象に、(1) 症状改善による生活習慣や性行動の変化やこれらに関連しうる要因を追跡調査する。(2) それらに対応した生活支援や感染予防教育のあり方を検討する。このような資料は、同国における長期的な HIV/AIDS 対策の政策立案に資するとともに、日本の途上国に対する HIV/AIDS 対策支援の立案に資するものと考えられる。

## 2. 研究の進捗状況

(1) タイ国東北部コンケンを調査地として、抗 HIV 多剤併用療法を受ける HIV 感染者を対象に、属性や種々の症状、性行動、生活習慣などについてインタビュー調査と自記式質問票を用いて、ベースライン調査及び2回の追跡調査（計3回の調査）を実施する計画である。本研究では倫理的配慮などに基づいて、対照群（非治療群）を設定しない。対象者を追跡調査することにより、属性や社会経済的要因、カウンセリングの内容、健康状態の変化、性行動の変化、安全な性行動の頻度

などの相互の関連を中心に分析する。

(2) 初年度及び第2年度は、当該研究を実施するための調査地における研究体制の構築と対象群の人数確保に向けたスクリーニング等を実施した。また、対象病院を管轄するタイ国保健省ならびに研究代表者の所属施設に研究倫理申請を行って承認を得た。また、抗 HIV 多剤併用療法を受ける HIV 感染者の性行動等に関する研究のレビューを実施した。

(3) 第3年度は、調査協力の得られた保健省立病院 20 箇所において、ベースライン調査を実施した。調査対象者は、2009年1月以降に抗 HIV 多剤併用療法を開始した18歳以上50歳未満の者である。総数で327人（男性171人、女性156人）について調査を実施した。327人中151人が、調査前3ヶ月間に性行為をしたと回答した。調査結果から、安全な性行動に関連する要因について分析を行った結果、安全な性行動と関連する要因として、「UC以外の医療保険に加入」、「友人にHIV感染を伝えていない」、「NGOからの支援を受けていない」などが挙げられた。また、2回目の調査（追跡調査）についても着手したところである。

### 3. 現在までの達成度

①やや遅れている。

(理由)

調査協力機関と対象者の人数を確保するための研究協力体制の構築に時間を要したため、ベースライン調査の実施が当初の計画より半年程度遅れたが、ベースライン調査は終了し、研究計画で想定した対象人数について調査を完了した。すでに2回目の調査(追跡調査)を開始しているため、計画期間中に予定した3回の調査と調査結果のまとめは可能である。

### 4. 今後の研究の推進方策

第4年度(2011年度)の前半には、2回目の追跡調査を終える。同年度後半には3回目の追跡調査を開始し、最終年度(2012年度)の前半には予定したすべての調査を終了する。3回の調査結果の詳細な分析から、性行動の頻度の変化や安全な性行為の関連要因について検討を行って報告書をまとめる予定である。

### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

①北島 勉. HIV母子感染予防プログラムと妊娠継続に関連に関する研究～タイにおける研究を中心として～. 杏林社会科学研究 2010; 26 (1): 29-45. (査読有)

② Kitajima T, Kobayashi Y, Pagaiya N, Nasugchon K, Sato H, Toyokawa S. Use of HAART and safer sexual behavior among people living with HIV in northeast Thailand. Journal of International Health 2009; 24: 275-280. (査読有)

[学会発表] (計2件)

①宮下裕美子、小林廉毅. 抗レトロウイルス療法と HIV 感染者/AIDS 患者の性行動にかかわる系統的レビュー. 第68回日本公衆衛生学会総会、奈良市、2009年10月23日.

② Kitajima T, Kobayashi Y, Pagaiya N, Sato H, Toyokawa S, Nasugchon K. Estimating the cost of stigma for receiving antiretroviral therapy among HIV/AIDS patients in the northeast Thailand. The 7th World Congress on Health Economics. Beijing, China, July 13, 2009.

[その他]

ホームページ

<http://publichealth.m.u-tokyo.ac.jp/>